

鐘で光るハート楽しんで

石川高専の学生5人は7日、小矢部市の複合施設「クロスランドおやべ」のハート形の島「ハートアイランド」にイルミネーションを設置する。「恋人の聖地」となっている島を光で彩り、鐘をならすとピンク色の光が点灯するなど趣向を凝らす。

学生は約9千個の発光ダイオード(LED)が付いたテープライトをハート形のモニュメントと橋のほか、島の周囲に取り付ける。モニュメントの鐘に加速度センサー、橋の手すりには赤外線センサーを設置した。鐘をならすとモニュメントの緑

小矢部 石川高専生 恋人の聖地彩る

がピンク色に光り、橋の照明は人が渡ると黄色から白色に変化する。

イルミネーションの設置は小矢部市や市商工会などの地域おこし「おやべ光のまちプロジェクト」の一環で、電子情報工学科の越野亮准教授の研究室生4人と照明関係を学ぶ環境建設工学専攻の学生1人が製作した。

電子機械工学専攻2年の梶川琢馬さん(22)は「恋人の聖地らしく雰囲気が高まるよう試行錯誤した。小矢部がさらに盛り上がってほしい」と期待を込めた。



イルミネーションを調整する学生
＝小矢部市の「クロスランドおやべ」